



本当の中国が見えてくる

日本人妻の歯ざしり ～老後の不安はお金と病気～

昨年末、会社の周さんが退職した。60歳の定年を迎えたのだ。中国では女性50歳、男性60歳で定年となり、政府から「年金」が下りる。実は、今年からその需給年齢が引き上げられたのだが、周さんはそれに間に合ったのだ。人生初の年金を手にした日、彼は社員全員にタピオカミルクティーをおごってくれた。年金は、一月6000円（約18万円）だそう。彼は個人で保険もかけており、保険会社から毎月3000円（約2万円）入るので、彼の一月の収入は日本円で20万円ほどになる。

「まあ、使い切れないね。大病をしなければね」と周さん。一度は言ってみていせりふだ。上海では、彼の年金は特別高いわけではない。学校卒業から定年までの間、どこかで働いて年金を納めていけば、そのぐらゐの金額になるらしい。公務員であったり大企業などで給料がよければ、その額はもっといいと聞く。同じ上海市内でも農村部で、企業や組織で働いたことがない人の年金は、日本円で一月5万円程度らしい。意外に差は大きい。

50歳という、今では早すぎる女性の定年は、昔ならそろそろ孫がでる頃で、孫の世話や高齢になった親の手助けなどをするために定められた、という説が有力だ。しかし、今では人々の生活も状況も変化し、男女とも定年を過ぎても仕事を続ける人は多い。

周さんの誕生日が近づくと、「彼は定年後も仕事を続けるのか？ 辞めるのか？」が、みんなの話題になった。「辞めるに決まっているよ！ 十分な年金があるんだから働く必要はないもの、家族のために家事をする方がよっぽどいいよ」と言う人もいれば、「彼の息子はまだ結婚してないから、まだお金が必要じゃない？」と言う人もいる。「定年後はどうするか？」は、近い将来みんな直面する問題で、他人事ではないと見えた。

「まあ、これだけの年金がもらえるのは上海だからだろうね」。「上海の景気は他の都市よりましだし」と周さんは言った。近年、

中国の景気が良くないのはここ上海でも感じられるようになった。給料、家賃、利息などが下がる一方、物価、医療費、教育費などが上がっている。中でも、中高年にとっての一番の不安は「医療費」だ。周さんの言った「大病しなければ」は、みんな同じ思いなのだ。実際、医療費が高くなったという話は、私も周りの人から聞いたことがある。前回まで30%保険でまかなわれていた薬が、一部実費になった、たくさんの検査に大金を取られた、必要な薬まで処方された…など。

他にも、中国では診察の予約をする際、医者を選ぶことができるというシステムがあり、初診でベテランの専門医に診てもらうことが可能だ。もちろん診察費は高い。最近、従業員の一人が肩の手術を受けたのだが、それは専門医の判断だったと言う。彼は以前、「医者も誰でも同じだと思って、言う通りに注射をして様子を見ていたけど、ぜんぜん良くならない」と、病院も医者も替えることにしたのだ。するとすぐ手術が決まった。彼が新たに診てもらった専門医の診察費は、一般の医者の5倍だった！ が、適切な診断をしてもらったと満足している。

軽度の病気ならまだ良いが、大病を患うと、入院費、手術費、診察費、薬代…あれこれ費用がかかることはまちがいない。年金は多に越したことはないが、ほとんどが医療費に消えてしまふのも残念だ。第二の人生は、今まで頑張ってきた良かった！ と思えるような、豊かな日々を送りたいではないか。心も身体も健康、これが一番だ。

写真

上海にも春が来ました。春の味です。

1. 清明節（今年は4月4日）が近づくと「青团」という緑の団子が店頭に並びます。（写真左上）
2. 緑の色は、主に麦の若葉の色です。中には小豆や黒ゴマの餡。最近では甘みを



profile さねみつ じゅんこ
岡山県出身 上海市在住 家族：夫、犬1匹、猫2匹。
1989年 大学卒業後、教育・福祉関係の仕事に就く。1997年 中国人の夫と結婚。
1998年 夫の赴任で上海に引っ越し、上海済経大学で中国語を学ぶ。
2000年 日本語教師の仕事に就く。
2005年 上海同済大学大学院入学。
2008年 卒業。
2008-2011年 病気治療のため日本に帰国
2011年 上海に戻り、夫の経営する会社の工場勤務 今に至る



②

抑えた、塩卵の黄身の餡などもあります。

3. 春の野菜を3つ買ってみました。右から「春筍」。普通のたけのこより細いのが春筍です。中央は「蘆筍」。日本では「チシャ」。ここは太い茎の部分を食べます。左は一般に「馬蹄」と呼ばれる「くわい」の一種です。中は白く、シャキシャキした歯ごたえです。
4. 「蘆筍」の一般的な食べ方は和え物。塩をふって水分を出した後、塩、ごま油、味の素などで和えるだけ。あつさりしていて、いくらでも食べられます。
5. 「馬蹄」は干しえび、きゅうりと炒めてみました。炒めてもシャキシャキしていて、ほんのりと甘さもあります。実は、今回初めて自分で買って調理しました。（写真右上）
6. 「春筍」は豚肉と炒めてみました。他にも煮物やスープ、筍ごはんなどいろいろな料理に使われる上海人の大好きな春の味です。



⑥



④



③